

ぎょしょく20周年記念イベントを実施しました！

「ぎょしょく」発祥の地である愛南町は、町内外でぎょしょく教育を実施し、今年度中には参加者延べ7万人を超える見込みです。このことを記念して町内の小中学生に7月20日(土)から9月1日(日)までの夏休み中に使える、西海観光船の鹿島渡航とマリンレジャーの無料体験チケットを配布しました。

7月28日(日)と8月17日(土)の両日に行われた鹿島渡航特別航路&マリンレジャー体験コースでは、水中観光船でサンゴの群生と色彩豊かな魚の群れが泳ぐ海中公園を眺め、夏でも涼しい鹿島の洞窟に船ごと突入した後、鹿島に下りてシーウォーカーやSUP、シュノーケリングでマリンアクティビティを楽しみました。また、「ぎょしょく(魚植)」のレクチャーにより、愛南町の海が美しいだけでなく生産力の高い豊かな海であることや、きれいな海を守るためにどうしたら良いかについて学びました。子どもたちの楽しげな瞳の中に未来の愛南へのまなざしが感じられました。



事前レクチャーを受ける参加者



鹿島の洞窟



SUPを楽しむ親子ら



シーウォーカーを楽しむご家族

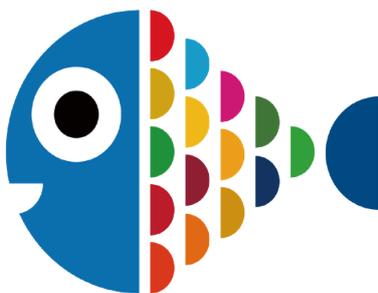
愛南産水産物の消費拡大に向けて

～ぎょしょく伝道師の認定と「さかなの日」の賛同～

ぎょしょく伝道師育成事業は、愛南町の獲る漁業・育てる漁業を学び、体験することで、関東圏の小学校の社会科で「ぎょしょく教育出前授業」を実施する人材育成を目的として、令和4年度から愛南町ぎょしょく普及推進協議会が実施しています。

今年度も、協同組合関東給食会の加盟団体から4人が来町して7月23日(火)から4日間の研修を受講しました。研修では、獲る漁業の引き縄・一本釣り漁師の船に乗り、カツオ等を釣り上げ、育てる漁業では、深浦の養殖会社でマダイの出荷や餌やりを体験したほか、愛南漁協でセリや施設見学、うみらいく愛南で愛媛大学南予水産研究センターの取り組みなどを聴講し、見識を深めました。9月には、ぎょしょく伝道師認定試験を兼ねたぎょしょく出前授業が7回関東の小学校で行われ、4人の新たなぎょしょく伝道師が認定されました。今後、関東の各地の小学校で、出前授業を開催して、子どもたちに愛南産水産物の魅力を伝えながら、消費拡大に貢献していただく予定です。

また、海業推進室と愛南町ぎょしょく普及推進協議会は、水産庁が提唱する「さかなの日」の賛同メンバーとなりました。この取り組みは、毎月3～7日を「さかなの日」として、水産物の消費拡大のために情報発信や水産物の販売促進などを強化するものです。これをきっかけに、ますます愛南産の水産物消費の拡大を図ります。



おいしい×サステナ=いい未来

さかなの日



さかなの日
公式ホームページ

海業推進会議メンバーで先進地を視察しました！

10月9日(水)から11日(金)の3日間、海業推進会議委員10人が、海業の先進地視察として岩手県大槌町を訪れました。岩手県の大槌町は、愛南町と同様に東北地方唯一となる海業振興モデル地区にも選定されており、町の規模感や漁港を活用した海業に関するさまざまな事業内容で愛南町と類似する点が多く見られます。成功事例や失敗事例といった多くの部分で情報共有することにより、相互に事業の質を高め合えるとの観点から、今回の視察先となりました。



テーマごとに分かれて意見交換
愛南町との類似点や参考にしたい事例が盛りだくさん！



ブルーツーリズム・海洋教育等の意見交換

さまざまな商品開発にチャレンジできる町の施設
2階には貸し出し可能なオフィスも完備！



地場産業活性化センター視察

エコツーリズムや体験教育の拠点
山・川・海の魅力を町内外に発信！



NPO法人おおつちのあそび視察

塩作りの歴史を学び、
海水からミネラル豊富な塩作りを体験！



田野畑村番屋 塩づくり体験

地元漁師のガイドさんが
歴史や生活様式を説明してくれました♪



田野畑村番屋群漁師ガイド体験

東日本大震災からの復興のため、あらゆる垣根が取り払われ、地域全体が連携して地域活性化のために尽力している姿が印象的でした。特に大槌町では町外の人が価値や魅力を発見して移住し、移住者がさまざまな事業を展開、あるいはコーディネーターとして活躍しており、行政が資金面や人的支援をしっかりと行っていました。愛南町でも点在する既存の魅力的な取り組みをつなげ、新たな価値を生み出し、提供できるような中間支援組織が必要と感じました。今回の視察は大変有意義なものであり、今後の愛南町の海業にも活用していこうと思いますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。